

国語（第1学年）

【教科目標】

- 1 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 2 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	言葉に出会うために	朝のリレー 野原は歌う	2 4	・学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・音声の働きや仕組みについて理解を深めることができる。 ・速さ、強弱、間、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。 ・詩にこめられたものの見方を捉える。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	1学期期末考査 提出物 授業
		はじまりの風	5	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。		
		[聞く] 情報を聞き取り 要点を伝える	3	・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えることができる。 ・効果的なメモの取り方を確かめる。		
5		音声の仕組みや働き	1	・音声の仕組みや働きについて理解を深めることができる。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	1学期期末考査 提出物 授業
		話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチする	5	・相手に分かりやすく伝えるために必要なことを考える。 ・自分の考えを伝えるために提示資料を考える。 ・スピーチメモを基にスピーチの練習をする。		
		漢字1 漢字の組み立てと部首	1	・漢字の組み立てと部首について、		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				漢和辞典を使って理解しようとする。		
6	新しい視点で	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く 言葉Ⅰ 指示する語句と接続する語句 空の詩三編 言葉3 さまざまな表現技法 比喩で広がる言葉の世界	4 3 2 2 2	・文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。 ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 ・内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。 ・指示する語句の使い分けを理解し、文と文とのつながりを理解する。 ・接続する語句の役割について理解を深めることができる。 ・詩を読んで、感じたことを伝え合う。 ・描かれた情景や表現の効果をについて話し合う。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解する。 ・筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深める。 ・三編の詩の表現を参考にして詩を作る。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	1学期期末考査 提出物 授業
7	言葉	文法への扉Ⅰ 言葉のまとまりを考えよう	3	・単語の類別について理解することができる。 ・言葉の単位とその働きについて理解している。	活動の観察 ワークシート	2学期中間考査 提出物 授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	に 立 ち 止 ま る 情 報 × S D G S い つ も 本 は そ ば に	語彙を豊かに 心情を表す言葉 硬筆 情報収集の達人になろう 著作権について知ろう 読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を 広げよう コラム 本との出会い	1 3 2 1 1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・正しい筆使いを確かめることができる。 ・情報メディアの特徴を捉え、目的や状況に応じた情報収集の仕方を理解する。 ・引用や出典、著作権の重要性を理解する。 ・情報の信頼性を判断するポイントを理解し、情報を受け取るときや発信するときの留意点を考える。 ・読んだ本を紹介したり感想を伝えあったりすることにより、読書に対する意欲・関心を高める。 ・読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	発言 作品 確認テスト 定期考査	
9	心 の 動 き	大人になれなかった弟 たちに・・・ 星の花が降るころに	3 5	・場面の展開に注意して、人物の設定を捉える。 ・登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えることができる。 ・作品を読んで印象に残った場面や考えたことについて語りあう。 ・表現に着目して、人物の人柄や心情を読み取る。	活 動 の 観 察 ワークシ ート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期中間 考査 提出物 授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		項目を立てて書こう 案内文を書く [推敲]読み手の立場に立つ	3	・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができる。 ・伝える相手や目的、内容を決め、それに応じた通信手段で相手に伝える。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることができる。		
		言葉4 方言と共通語	1	・共通語と方言の果たす役割について理解することができる。 ・共通語と方言の役割や活用場面について理解する。		
		聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2	・聞き方や質問の仕方を工夫しながら対話の練習をする。 ・的確なインタビューで相手の思いや考えを引き出す。		
		漢字2 漢字の音訓	1	・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。		
		漢字に親しもう2	1	・漢字の伝来と漢字の音について理解する。		
10	筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジウカラ	6	全文を通読し、本文を序論・本論・結論に分ける。 原因と結果、意見と根拠、情報と情報との関係について理解し、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。 ・筆者の論理の展開を吟味する。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期期末考査 提出物 授業
		思考のレッスン1 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	4	「根拠として示されている事実」やデータなどの「客観性や信頼性」「複数の事実や統計によること」などの観点を持つ。		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		文法への扉2 言葉の関係を考えよう	4	・文節どうしの関係、連文節、文の成分、文の組み立てについて、理解を深めている。		
		聴きひたる 大阿蘇	4	詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像する。 ・心情を表す語句の量を増やすと共に語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。		
11	いにしえの心にふれる 価値を見いだす	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉 漢文を読む 「不便」の価値を見つめなおす 思考のレッスン2 原因と結果	3 4 2 4 2	・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知ることができる。 ・古文を音読し古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ・古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・描かれている古典の世界を想像できる。 ・音読を通して古典の世界に親しんでいる。 ・登場人物の言動から心情を考える。 ・現代語訳や注を手掛かりにして読み、文章の内容を捉える。 ・全文を通読し、漢文に描かれた情景や心情を読み取る。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ・本文を通読し、筆者の考えを要約する。 ・原因と結果、意見と根拠の関係について理解することができる。 ・表などを用いて、情報を整理する。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期期末 考査 提出物 授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。		
12	いつも本はそばに	[話し合い(進行)] 進め方について考えよう 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる 漢字に親しもう 4 研究の現場によろこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう 毛筆	4 2 1 3 1 4	・話し合いの流れを整理するために必要なことを話し合い、考えをまとめる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 ・漢字の読み・書きについて理解を深める。 ・二つの文章を、自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合う。 ・本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・読書から知識や情報を得て、自分の考えを確かなものにすることができる。 ・漢字と平仮名を調和させることができる。 ・行書の書き方を理解することができる。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	3学期学年末考査 提出物 授業
1		少年の日の思い出	9	・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 ・工夫された表現に着目して、文体	活動の観察 ワークシ	3学期学年末考査 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	自分を見つめる	漢字に親しもう 5 文法への扉 3 単語の性質を見つけよう	1 3	の特徴を捉えて読み味わう。 ・「僕」の心情の変化を理解できる。 ・別の人物の視点から文章を捉えなおすことができる。 ・自立語と付属語、活用の有無、品詞の性質などについて理解することができる。	ト 発言 作品 確認テスト 定期考査	授業
2		二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 漢字 3 漢字の成り立ち 毛筆と硬筆 一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する ぼくがここに	1 3 1 3 2 1	・心情を表す語句や表現などに着目し筆者の心情を理解できる。 ・自分の思いが伝わるように文章を工夫する。 ・日常生活を振り返り、題材を決定する。 ・表音文字と表意文字について理解する。 ・漢字の成り立ちについて理解できる。 ・今までの学びを思い出して、座右の銘や手紙などの作品を作ることができる。 ・一年の学習を振り返り、「国語を学ぶ意義」について考える。 ・発表の構成を考え、発表の構成メモを作成できる。 ・対話の際に、互いの考えを尊重しながら、さらに考えを深めるために、どのような点を心がけたか、自分の言葉でまとめる。 ・詩の朗読を通して、語句や表現を味わい語彙を深める。 ・作者の者の見方について話し合い、自分の考えを深める。	活 動 の 観 察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	3学期学年 末考査 提出物 授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
3		国語の力試し	5	・一年間で学んだ資質・能力を確認する。 - 自分の身に着けた能力を振り返りさらに深める。 ・目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト	提出物 授業
合計時数【 140 】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法(評価資料)	
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	ワークシート 確認テスト 定期考査
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	ワークシート 発言・作品 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	活動の観察 発言 作品

社会（第1学年）

【教科目標】

広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	世界と日本の地域構成	【道徳】 世界の姿 世界の州、世界の国々 緯度・経度 世界地図と地球儀 日本の位置 時差 日本の領域 都道府県と都道府県庁所在地	8	国名の由来、国の大小、国境の意味、海洋国と内陸国などの視点から世界の国々を大観させ、主な国々の位置や由来国名知識を身に付けさせるとともに、世界地理への関心を高めるようにする。 ・ 世界の中における日本の位置、時差でとらえる日本の位置、日本の領域とその特色についてとらえさせる。 ・ 日本の都道府県名と県庁所在地についての知識を身に付ける。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート ・ 小テスト 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 1学期 期末考査
5・6	世界のさまざまな地域	【道徳】 世界各地の気候、地形、生活や文化の特色、宗教 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯（冷帯）・寒帯・高山気候	10	・ 地域で異なる自然環境と人々の生活の特色を諸資料からとらえさせるとともに、その変容について、自然および社会的条件と関連付けて考察する。 ・ 世界にはさまざまな宗教や宗教とのかかわりの深い生活が営まれていることを理解させるとともに、異なる文化を尊重する態度を身に付ける。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 1学期 期末考査
6	歴史への扉	歴史的な見方・考え方 身近な地域の歴史	4	・ 時期や年代、時代の推移や比較、相互の関連や現在とのつながり等を意識して、歴史的な見方・考え方の基本を身に付ける。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート	授業 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
6・7	古代までの日本	人類の出現 古代文明 宗教の起こり 縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代 大帝国の出現	12	- 人類の出現により文明が起こったことを理解する。 - 中国や地中海地域に統一国家が成立し、東西の交流が行われたことを理解する。 - 日本で国家が形成されていく過程を東アジアとの関わりを通して理解する。 - 東西に大帝国が成立し国際交流が盛んになったことを理解する。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 2学期 中間考査
9	古代の日本・中世の日本	貴族社会の発展 武家政治の始まり 平安・鎌倉時代前期	10	- 天皇や貴族の政治が展開し古代国家が発展していったことや文化の国風化が進んだことを理解する。 - 鎌倉幕府の成立・発展と武士や民衆による新たな社会や文化の特色を理解する。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 2学期 中間考査
10	アジア州	【道徳】 アジア州の自然環境 農業・文化と経済発展 中国・韓国 東南アジア 南アジア 中央アジア、西アジア	10	アジア州の地域的特色を理解するために、「経済の成長」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究するとともに、その過程において地域的な主題を多面的・多角的に考察し、その成果を様々な形で表現する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 2学期 期末考査
11・12	ヨーロッパ州	【道徳】 ヨーロッパ州の自然環境 文化の共通性と多様性 EUの成り立ち 農業とEU 工業とEU EUの課題	8	- ヨーロッパ州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化産業、結び付きなどの面から捉える。 - 国どうしの統合の変化を主題とし、歴史、産業、結び付きなどの面を関連付けて追究する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 2学期 期末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
12	ア フ リ カ 州	【道徳】 アフリカの自然環境 アフリカの歴史と文化 アフリカの経済	8	・ アフリカ州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化、産業、人口などの面から捉える。 ・ モノカルチャー経済にたよる生活からの自立を主題として追究する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査
1	南 北 ア メ リ カ 州	【道徳】 北アメリカの自然環境 移民の歴史と多様な民族 大規模な農業 世界をリードする工業 南アメリカ州の自然環境 多様な民族・文化 農業と工業	12	・ 北アメリカ州の地域的特色を理解するために、「アメリカ合衆国を中心とする産業」に関する学習テーマを設定して地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・ 南アメリカ州の地域的特色を理解するために「開発の進展と環境問題」に関する学習テーマを設定して、産業や生活・文化などの地域的特色や課題を多面的・多角的に考察する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査
2 ・ 3	オ セ ア ニ ア 州	【道徳】 オセアニア州の自然環境 移民の歴史と他文化社会 産業の発展	4	・ オセアニア州の特色を、自然環境、歴史、生活・文化、産業、結び付きなどの面から捉える。 ・ 強まるアジアとの結び付きを主題とし、歴史や産業と関連付けて追究する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査
	中 世 の 日 本	ユーラシアの動きと 武家政治の変化 民衆と下克上の社会	10	・ 13 世紀ごろのモンゴル帝国が成立し東西の交流が盛んになったことを理解する。 ・ 南北朝の争乱と室町幕府の成立、応仁の乱後の社会的変動と戦国の動乱、産業の発達と都市や農村の自治的な仕組みの成立、室町文化について理解する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組	授業 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
3	近世の日本	結びつく世界との出会い 天下統一への歩み	9	・ ヨーロッパでのルネサンス・宗教改革・新航路の開拓などの動きや、日本に來航した背景や目的を理解し日本の社会へ及ぼした影響について考える。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組	授業 提出物
合計時数【105】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、ワークシート、小テスト、学習支援ソフトの取組など
思考・判断・表現	定期考査、まとめプリント、レポート、ワークシートの取組など
主体的に学習に取り組む態度	単元振り返りシートの取組など

数学（第1学年）

【教科目標】

- 1 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 2 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いたり数量の関係や法則などを考察する力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- 3 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

【学習計画】数学Ⅰ

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場 面
4 5 6	Ⅰ章 正の数と 負の数	1 正の数・ 負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 いろいろな 計算	28	・ 負の数の意味を理解し、負の数を数直線上に表すことができるようになる。 ・ 数の大小関係を理解し、不等号を使って表すことができるようになる。 ・ 正の数と負の数の加法と減法ができるようになる。 ・ 項の意味を理解し、項の考えにもとづく計算ができるようになる。 ・ 正の数と負の数の乗法と除法ができるようになる。 ・ 除法を乗法に直して計算できることを理解し、乗法と除法の混じった計算ができるようになる。 ・ 四則の混じった計算ができるようになる。 ・ 数の集合を理解し、負の数の計算ができるようになったことの価値を感じることができるようになる。 ・ 自然数を素因数分解することが	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 Ⅰ学期 期末考 査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場 面
		問題 A、問題 B		できるようになる。 具体的な場面に負の数を利用して考えることができるようになる。		
7 9 10	2章 文字と式	1 文字と式 2 文字式の計算 3 文字式の利用 問題 A、問題 B	22	- 文字式の積、商の表し方を理解し、きまりにしたがって表すことができるようになる。 - 具体的な数量を、文字式で表すことができるようになる。 - 文字に数を代入する方法を理解し、文字式の値を求めることができるようになる。 1次式の加法と減法の計算方法を理解し、その計算をすることができるようになる。 1次式と数の乗法と除法の計算方法を理解し、その計算をすることができるようになる。 - 文字式で表された数量の意味を読み取ることができるようになる。 - 数量の相等関係や大小関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式からその意味を読み取ることができるようになる。	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2 学期 中間考 査 2 学期 期末考 査 など
11 12	3章 1次方程式	1 1次方程式 2 一次方程式 の利用	17	- 方程式と方程式の解の意味を理解する。 - 等式の性質を理解し、それを利用して方程式を解くことができるようになる。 - 移項して方程式を解くことができるようになる。 - 比例式の意味と比例式の性質を理解し、比例式を満たす x の値を求めることができるようになる。 - 方程式を利用して問題を解決する手順を理解し、具体的な問題を解決することができるようになる。	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3 学期 学年末 考査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場 面
		問題 A、問題 B		・ 方程式を解いて求めた解が適切なものであるかどうかを確認することができるようになる。		
1 2 3	4 章 比例と 反比例	1 比例 2 反比例 3 比例と反比例の利用 問題 A、問題 B	22	- 関数関係について理解し、ともなう変わる2つの数量を関数としてとらえることができるようになる。 - 比例の変化と対応のようすを、式や表を用いてとらえることができるようになる。 - 負の数まで拡張した座標平面を理解し、点の位置を読み取ったり、点を座標として表したりすることができるようになる。 - 比例のグラフの特徴を理解し、比例の式をグラフに表すことができるようになる。 - 反比例の変化と対応のようすを式や表を用いてとらえることができるようになる。 - 反比例のグラフの特徴を理解し、反比例の式をグラフに表すことができるようになる。 - 比例や反比例を利用して、具体的な問題を解決することができるようになる。	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3 学期 学年末 考査 など
合計時数【105】						

【学習計画】数学 2

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場 面
4 5 6 7	5 章 平面図形	1 平面図形 2 作図	17	- 平行移動、回転移動、対称移動の意味を理解し、それらを使って図形を移動させることができるようになる。 - 平行移動、回転移動、対称移動について、移動前と移動後の図形の関係を理解する。 - 垂直二等分線、角の二等分線、垂線を作図することができるよ	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 1 学期 期末考査 2 学期 中間考査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場 面
		3 円 問題 A、問題 B		うになる。 ・ 垂直二等分線、角の二等分線、 垂線を作図することができる根 拠を理解する。 ・ 円や円の接線に関する性質を理 解する。		
9 10 11 12 1	6 章 空間図形	1 空間図形 2 立体の体積 と表面積 問題 A、問題 B	21	・ いろいろな立体の特徴を理解す る。 ・ 空間における直線や平面の位置 関係を理解する。 ・ 立体を平面図形の運動によって 構成されたものとしてとらえたり、 投影図として平面上に表し たりすることができるようになる。 ・ おうぎ形の弧の長さや面積の求 め方を理解し、それらを求める ことができるようになる。 ・ 立体の体積や表面積の求め方を 理解し、それらを求めることが できるようになる。	授業への 取り組み 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2 学期 期 末 考 査 3 学期 学 年 末 考 査 など
2 3	7 章 データの 活用	1 データの整 理とその活用 2 確率 問題 A、問題 B	13	・ データを表やグラフに整理し、 分布の傾向を読み取ることがで きるようになる。 ・ 相対度数の意味を理解する。 ・ 多数の観察や多数回の試行に よって得られる確率の意味を理 解する。	授業への 取り組み 提出物 小テスト	授業 提出物 など
合計時数【35】						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、小テスト
思考・判断・表現	定期考査、小テスト
主体的に学習に 取り組む態度	授業への取り組み方、提出物

理科（第1学年）

【教科目標】

自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てると共に自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を身に付ける。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	いろいろな生物とその共通点	生物の観察と分類のしかた	7	・ いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・ 生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	授業・実験 ・ 観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 Ⅰ学期期末 考査
5		植物の分類	10	・ いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 身近な植物についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・ 植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	授業・実験 ・ 観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 Ⅰ学期期末 考査

6		動物の分類	10	・ いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 身近な動物についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・ 動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 1学期期末 考査
7	身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質	8	・ 身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・ 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 ・ 物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 2学期中間 考査
		気体の性質	5	・ 気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 ・ 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 ・ 物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 2学期中間 考査
9						

				的に見ることができるようにする。		
		水溶液の性質	7	・ 水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだし表現する。 ・ 水溶液に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 2学期期末 考査
10		物質の姿と状態変化	7	・ 物質の状態変化についての観察、実験を通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだし理解する。また、物質は融点や沸点をさかいに状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を通して、沸点のちがいによって物質の分離ができることを見いだし理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現する。 ・ 状態変化に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 2学期期末 考査
11	身のまわりの現象	光の世界	11	・ 光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 光について問題点を見いだし、見通し	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 2学期期末 考査

12				をもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 ・光に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。		
		音の世界	6	・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・音について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 ・音に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 3 学期 学年 末考査
		力の世界	9	・物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさと向きによって表されること、物体にはたらく 2 力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・力について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。 ・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 3 学期 学年 末考査
I		身近な地形や地層、岩石の観察	2	・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 3 学期 学年 末考査

2	大地の変化		察・実験の技能を身につける。 - 身近な地形や地層，岩石の観察について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。 - 身近な地形や地層，岩石の観察に関する事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようにする。		
	火をふく大地	7	- 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，火山活動と火成岩，自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，それらの観察・実験の技能を身につける。 - 火山，自然のめぐみと火山災害について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，地下のマグマの性質と火山の形との関係性，自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。 - 火山，自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見るができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 3 学期学年 末考査
	動き続ける大地	6	- 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，地震の伝わり方と地球内部のはたらき，地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，それらの観察・実験の技能を身につける。 - 地震，地震災害について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性，地震災害と地震発生の	授業・実験 ・観察の取組 提出物 定期考査 小テスト	授業 実験・観察 提出物 3 学期学年 末考査

3				しくみとの関係性などを見いだして表現する。 ・地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。		
		地層から読みとる大地の変化	10	・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようにすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・地層の重なりと過去のようにすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。 ・地層の重なりと過去のようにすに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	授業・実験 ・観察の取組 提出物 小テスト	授業 実験・観察 提出物
合計時数【105】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	授業の取組、実験・観察プリント、定期考査、小テスト
思考・判断・表現	授業の取組、実験・観察プリント、定期考査、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業・実験・観察の取組、振り返りシート・その他提出物の内容

音楽（第1学年）

【教科目標】

- 1 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- 2 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
- 3 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

【学習計画】

月	単 元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	歌 唱 ・ 鑑 賞	校歌 映 画 「 ジ ョ ー ズ」のテーマ	3	・ 明るい歌声で、拍の流れに乗っ て歌う。 ・ 曲想の変化を感じ取って、言葉 で説明するなどして、よさや美 しさを味わう。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 1 学 期 期 末考査 など
5	鑑 賞	春-第Ⅰ楽章- オーケストラ鑑 賞教室	3	・ 曲想の変化を感じ取って、言葉 で説明するなどして、よさや美 しさを味わう。	ワークシート 観 察 定期考査	
6	歌 唱	浜辺の歌 「夢の世界を」	3	・ 8分の6拍子の流れにのって、 旋律のまとまりを感じながら歌 う。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
7	鑑 賞	雅 楽	3	・ さまざまな音楽の特徴とその特 徴から生まれる多様性をわか る。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
	歌 唱	「夢の世界を」 課題曲、自由曲	2	・ パートの役割や、旋律の重なり 方の違いを感じ取って合唱す る。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
9	歌 唱	課題曲、自由曲 「赤とんぼ」	6	・ パートの役割や、旋律の重なり 方の違いを感じ取って合唱す る。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 2 学 期 期 末考査 3 学 期 学 年 末 考 査 など
10		合唱コンクール	7			
11	鑑 賞	「魔王」	2	・ 詩の内容と曲想との関わりを感 じ取る。日本の伝統音楽に親し み、そのよさを味わう。 ・ 楽器の正しい扱い方を理解し、 演奏する。	ワークシート 観 察 演奏聴取 定期考査	
12	・ 器 楽	日本の民謡 箏「さくらさく ら」	2			
1	鑑 賞	ギター	5	・ 楽器の正しい扱い方を理解し、 演奏する。 ・ 器楽表現の知識や技能を得たり 生かしたりしながら器楽表現を 工夫する。	演奏聴取 観 察 定期考査	
2						

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
3	創作	DTM	5	・ 情景を思い浮かべながら、表情豊かに演奏する。	ワークシート 演奏聴取	提出物 授業 など
	歌唱	全校合唱	4	・ パートの役割や、旋律の重なり方の違いを感じ取って合唱する。	ワークシート 演奏聴取	
合計時数【45】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観 点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、演奏聴取（実技テスト）、観察、作品提出
思考・判断・表現	実技テスト（表現） ワークシート、観察、作品提出
主体的に学習に取り組む態度	ワーク、ワークシート、観察

美術（第1学年）

【教科目標】

- 1 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- 2 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- 3 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	絵画	オリエンテーション (1) 見て感じて、描く手、デッサン、グラデーション(3)	4	・身近なものを観察して、特徴をとらえて表す。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 教科書や資料の活用 1学期期末考査
5 6 7 9	絵画	色鉛筆デッサン (6)	6	・陰影を考えて表現する。 ・イメージを膨らませ、効果的な光と影の色鉛筆絵画を描く。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 教科書や資料の活用 1学期期末考査
10 11	デザイン	具象と抽象 ～色と形のコンポジション～(5)	5	・抽象的表現と具体的表現の違いを知る。 ・色紙を切り出し、イメージに合うコンポジションをつくる。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 作業の様子 教科書や資料の活用 実習の準備、片付け 2学期期末考査
12 1 2	絵画	色の効果 (8)	8	・アクリル絵の具の使い方と色の効果を学ぶ。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 作業の様子 教科書や資料の活用 実習の準備、片付け 3学期学年末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
3	デザイン	消しゴムはんこでつくる連続模様(10)	10	・ 連続模様のつくり方を知り、創造的なマイマークを考える。 ・ 材料の特性と正しい道具の使い方を知る。 ・ ハンカチに効果的に模様を配置する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 教科書や資料の活用 3学期学年末考査
	鑑賞	鑑賞との出会い(2) 印象派をこえて 後期印象派 新印象派 出会った作品をもっと知ろう。	2	・ 出会った作品をもっと知ろう。	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書や資料の活用
	デザイン	楽しく伝える文字のデザイン(10) 文字の意味から形を考えたり、色をイメージしたりしながら表し方を工夫しよう	10	・ 文字の意味から形を考えたり、色をイメージしたりしながら表し方を工夫する	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書や資料の活用
合計時数【45】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、定期考査
思考・判断・表現	提出物、プリント、作品、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、遅刻、忘れ物、提出物、定期考査

保健体育（第1学年）

【教科目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1 各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- 2 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 3 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【学習計画】

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	オリエンテーション 体づくり運動 集団行動	1 2 3	・ 授業の進め方、評価の仕方 等を確認し、理解する。	授業観察 学習カード ワークシート 実技テスト	授業内・授業 後の振り返り 提出物の提出 グループ活動
5	陸上競技(短距離 走・リレー) 運動会練習	5 3	・ 陸上競技の技術や行い方を理 解する。	保健体育ノー ト 定期考査 等	1学期期末考 査
6	スポーツテスト	4	・ 体力テストの行い方、名 称、関連する体力などを理 解する。		
6	体育理論(運動やス ポーツの多様性)	3	・ 運動やスポーツを通じた多 様な関わり方や楽しみ方につ いて理解する。		
7	保健(健康な生活と 病気の予防)	4	・ 個人生活における健康・安 全について理解をするととも に基本的な技能を身に付け る。		
9	水泳	12	・ 技術の名称や行い方などを 理解し、泳法を身に付ける。		
10	武道(柔道)	6	・ 武道の特性や成り立ち、技 や名称の行い方を理解する とともに、相手を尊重し、 伝統的な行動の仕方を守ろ うとする姿勢を身に付け る。	授業観察 学習カード ワークシート 実技テスト 定期考査 等	授業内・授業 後の振り返り 提出物の提出 グループ活動 2学期期末考 査
	保健(健康な生活と 疾病の予防)	2			

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
11	保健（心身の発達と心の健康）	6	・ 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ・ 心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解する。 ・ 球技の特性や成り立ち、技術の行い方や名称などを理解する。 ・ 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方を理解する。 ・ 技ができる楽しさや喜びを味わい、成り立ちや特性等を理解する。		
	球技（卓球）	6			
	球技（バレーボール）	6			
	ダンス（創作ダンス）	16			
12	器械運動（マット運動）	8			
1					
2					
3	球技(サッカー)ゴール型	8	・ 狙ったところにボールを蹴り出すことができるようになる。ゲーム中に空間を見つけてことができるようになる。 ・ 心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解する。 - 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができる。 ・ 体を動かす楽しさや心地良さを味わう。	授業観察 学習カード ワークシート 実技テスト まとめテスト 定期考査 等	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 グループ活動 3学期学年末考査
	球技（バスケット）				
	保健（心身の発達と心の健康）	3			
	陸上競技（長距離走）	6			
	体づくり運動	3			
合計時数【105】					
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。					

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、実技テスト、発表会、授業観察等
思考・判断・表現	定期考査 提出物の内容（学習カード、ノート等）、授業観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業観察（授業への取組）、提出物の内容（学習カード、ノート等）等

技術・家庭（技術分野／第1学年）

【教科目標】

＜材料と加工の技術＞

ものづくりの実習を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する態度を育てる。

＜生物育成の技術＞

生物育成の技術の基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する力と態度を育てる。

＜情報の技術＞

コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それを用いてデジタル作品が制作できる力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4		ガイダンス	1	・ 小学校からの学習のつながり、技術のすばらしさについて知る。	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書の活用
5	情報	情報セキュリティと情報モラル	1	・ 情報モラルについて理解する。	授業中の観察 ワークシート 振り返り 定期考査	授業・発表 教科書の活用 1学期期末考査
6	材料と加工の技術	製図	3	・ 等角図や第三角法を使って、立体の表し方を理解させる。 また、特徴や活用方法について理解する。	授業中の観察 ワークシート 課題レポート 振り返り 定期考査	授業 班活動 教科書の活用 1学期期末考査
7		木製品の製作 けがき作業 切断作業 穴あけ作業 仮組立作業 仕上げ作業 製図	16	・ 設計図を見て、どのような加工をするか、 ・ 製図を通して理解する。 ・ 各作業で道具の正しい使い方を理解する。 ・ 安全にけががないように指導する。	授業中の観察 ワークシート 実習記録表 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 グループ活動 作業の様子 教科書の活用 実習の準備、 片付け 2学期期末考査
11	生物育成の技術	生活や社会を支える生物育成の技術	3	・ 教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生活との関わりを理解する	授業中の観察 ワークシート 定期考査 休業中の課題 振り返り	授業 作業の様子 教科書の活用 2学期期末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
12 1 2 3	情報 の 技術	コンピュータの 基本的な構成や しくみなど	2	・ コンピュータを見て各部の名称、働き、装置の役割について理解する。 ・ コンピュータの基本操作を理解する。	授業中の観察 ワークシート 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用 3 学期 学年末 考査
		ワードプロセッサの使い方 インターネットの使い方	7	・ ワードプロセッサの使い方について理解する。 ・ インターネットの使い方について理解する。	授業中の観察 ワークシート 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 発表 教科書の活用 3 学期 学年末 考査
		図形処理	2	・ ペイントを使い、図形処理の方法を理解する。	授業中の観察 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用
合計時数【35】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振り返り

技術・家庭（家庭分野／第1学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標 (各題材で身に着けてほしい力)	評価方法	評価場面	
1学期 (4～7)	衣食住の生活(食生活)	◎オリエンテーション	1	・小学校家庭科での学びを踏まえ、中学校3年間の家庭科での学びの見通しをもつ。	・ワークシート	授業提出物	
		◎食事の役割について理解しよう	3	・健康な生活における食事の役割を理解する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査	授業提出物 調理実習 1学期期末考査	
				・規則正しい食習慣の重要性について理解を深める。			
				・自身の食生活を振り返り、今後の見通しを立てる。			
		◎中学生に必要な栄養素について理解しよう	5	・中学生に必要な5大栄養素とその特徴について理解する。 ・水及び食物繊維の特徴と働きについて理解する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査		
				・6つの基礎食品群について理解し、生活の中で活用できるようにする。			
		◎日常食の調理をしよう①	3	・安全かつ衛生的に調理室や調理器具の使い方を理解する。 ・基本的な調理方法(手順、切り方)について理解する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート ・定期考査		
				*肉じゃが ・安全と衛生に留意して食品及び器具の管理をする。 ・包丁を使った様々な切り方が実践できる ・加熱調理「煮る」の仕方について理解し、実践する。			
			◎適切な食品の選択について考えよう	7	・生鮮食品及び加工食品の特徴を理解する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・レポート	授業提出物 2学期期末考査
					・生鮮食品及び加工食品の表示についての理解を深め、活用できるようにする。		
・加工食品について、食品添加物や食物アレルギーへの理解を深め、適切な食品の選択に生かす。							
◎食品の	4		・野菜のおいしい食べ方について、実践的に理解する。	・授業中の様子			

時期	題材	単元	時数	主な達成目標 (各題材で身に付けてほしい力)	評価方法	評価場面
2学期 (9～12)		調理性について理解を深めよう		・肉類のおいしい食べ方について、実践的に理解する。	・定期考査	授業 提出物 調理実習 3学期学 年末考査
				・魚類のおいしい食べ方について、実践的に理解する。		
		◎日本の食文化について理解を深めよう	1	・和食の特徴に触れ、食文化の大切さに対する理解を深める。	・授業中の観察 ・ワークシート	
		◎日常食の調理をしよう②	3	・基本的な調理方法（手順、切り方）について理解する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート	
＊おせち、紅白なます ・日本の伝統的な食文化に関する調理を実践し、理解を深める。						
3学期		◎持続可能な食生活について考えよう	1	・食品ロスについて理解し、削減に向けた生活の工夫について考えを深める。	・ワークシート ・レポート	
		◎日常食の調理をしよう③	3	・基本的な調理方法について理解する。 ・時間を意識した効率的な調理に向けて、計画を立てる。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート	
				＊ハンバーグ、にんじんしりしり、ポテト ・加熱調理「焼く」「蒸す」の仕方について理解し、実践する。		
		◎1日分の献立を立てよう	4	・1年間の食領域の学びを踏まえ、1日分の献立を作成する。	・授業中の観察 ・ワークシート	
		合計時数	35			

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容（評価方法）
知識・技能	・ 題材や授業のめあてに応じて、正しい知識や技術を習得・活用できている （定期考査、実習での作業の様子、作品の完成度） ・ 安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現することができている（作品の完成度、ワークシート記入状況）
思考力・判断力・表現力	・ 提出物（作品やレポート、ワークシートなど）に創意工夫ができている ・ 授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている（ワークシート、発言、発表） ・ 調理実習において作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている（発言、発表、実習への取り組み） ・ 提出物を確実に提出することができている（ワークシート記入状況）

外国語（英語／第1学年）

【教科目標】

- 1 英語の学習を通して、英語や外国の文化に対する理解を深める。
- 2 英語を使って、積極的にコミュニケーションを図る。
- 3 英語を聞くことや英語を話すことなどの基礎的な力を身に付ける。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	Let's Be Friends! Unit1 Here We Go!	I am～. I like～. I don't like～ I can～.I can't ～.	13	・ 会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・ 自己紹介カードに自分の情報を書くことができる。	提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 1学期期末 考査
5	Unit2 School Activities	Are you～? Do you～? Can you～?	11	・ インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。	提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 1学期期末 考査
	Daily Life1 国際郵便	ローマ字	1	・ 海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。	スピーキン グテスト 定期考査	授業 ペアワーク 1学期期末 考査
	Unit 3 Enjoy the Summer	What do you ～? I like dancing I want to～.	12	・ インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・ 夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。	提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 1学期期末 考査
	Daily Life2 落とし物	Whose～?	1	・ 落とし物の持ち主を探すやり取りができる。	観察 定期考査	授業 1学期期末 考査
6	Sounds and Letters	発音とつづり	3	・ 文字を正しく読むことができる。	観察	授業
	World Tour 1	既習事項	1	・ 世界の挨拶や、中学校の生活の様子を知ろう。	観察 定期考査	授業 1学期期末 考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	You Can Do It! I	既習事項	4	・ 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう。	スピーチ 提出物	授業 グループ ワーク
	Daily Life 3 カフェ	Which～? How much ～?	1	・ 飲食店で、注文をするやり取りができる。	スピーキン グテスト 定期考査	授業 ペアワーク 2学期中間 考査
7	Unit 4 Our New Friend	He is ～. / She is ～. Who is ～? Is he ～? / He isn't ～.	13	・ 人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・ 身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。	スピーチ 提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 2学中間考 査
	Daily Life 4 ウェブサイト	既習の表現	1	・ ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。	スピーキン グテスト 定期考査	授業 ペアワーク 2学中間考 査
	Active Grammar 2	代名詞	1	・ 人や物事の代わりをする言葉を整理しよう。	観察 定期考査	授業 2学中間考 査
9	Unit 5 This is Our School	Where is ～? Watch your step. When is ～?	11	・ 学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・ お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。	提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 2学中間考 査
	Daily Life 5 ラジオの中継	既習事項	1	・ ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。	観察 定期考査	授業 2学期期末 考査
	Your Coach 辞書を使おう	既習事項	1	・ 英和辞典に出ている情報を調べられるようになる。	観察 定期考査	授業 2学期期末 考査
	Active Grammar 3	is / 3 人称単数 現在形	1	・ 自分と相手以外のことを伝える言い方を整理しよう。	観察 定期考査	授業 2学期期末 考査
10	Unit 6 Cheer Up,	She likes ～. Does she ～?	13	・ 紹介文から、その人物が誰かを読み取ることがで	スピーチ 提出物	授業 ペアワーク

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	Tina	She doesn't ～.		きる。 ・ 身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。	観察 定期考査	グループ ワーク 2学期期末 考査
	Active Grammar 4	疑問詞	2	・ yes や no では答えられない疑問文を整理しよう	観察 定期考査	授業 2学期期末 考査
11	Let's Read 1 What Am I?	既習の表現	3	・ 説明文から, “I” についての情報を読み取ることができる。	観察 提出物	授業
	World Tour 2 世界の時刻	What time～?	1	・ 日本と世界の時差について知ろう。	観察	授業
	You Can Do It! 2	既習の表現	2	・ 「ドリームファミリー」を紹介しよう。	観察 提出物	一斉授業 発表など
	Unit 7 New Year Holidays in Japan	I went ～. Did you ～? It was ～.	14	・ はがきから, 出来事や感想などを読み取ることができる。 ・ 冬休みの出来事や感想などを伝える, はがきを書くことができる。	スピーチ 提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 3学期学年 末考査
12	Let's Talk!	既習の表現	1	・ 自分や相手のことについて, その場でやり取りすることができる。	観察 定期考査	授業 3学期学年 末考査
1	Unit 8 Getting Ready for the Party	I am baking ～. Are you baking ～? It looks ～.	12	・ 写真の説明から, その場の状況を聞き取ることができる。 ・ 写真に, 状況を説明するキャプションを書くことができる。	提出物 観察 定期考査	授業 ペアワーク グループ ワーク 3学期学年 末考査
2	Active Grammar 5	動詞の過去形	1	・ 過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しよう。	観察 定期考査	授業 3学期学年 末考査
	Active Words	カテゴリー別語彙	1	・ 自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう。	観察 定期考査	授業 3学期学年 末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	Let's Read 2 The Lion and The Mouse	既習の表現	6	・ 物語から、あらすじを読み取ることができる。	観察 提出物	授業
3	Active grammar6	現在進行形	1	・ している最中のことを伝える言い方を整理しよう	観察 定期考査	授業 3学期学年 末考査
	You Can Do It! 3	既習の表現	4	・ 学校行事の紹介ページを作ろう。	提出物 観察 定期考査	授業 グループ ワーク 3学期学年 末考査
	Let's Read More I My Japanese Lessons	既習の表現	3	・ レポートから、筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。	観察 提出物	授業
合計時数【140】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）	
知識・技能	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを知識・技能を習得し、身につけ活用することができるか評価する。	観察 定期考査 小テスト 提出物
思考・判断・表現	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝えあうことができるか評価する。	観察 定期考査 小テスト 英作文等課題の内容 スピーチ 会話テスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。	観察（音読、会話活動への参加の様子、自己表現や発表） 会話テスト 提出物への取組